

★新本庄上里学校給食センターの建設が始まります★



本庄上里学校給食組合では、老朽化した給食センターに替わる新センターの建設を進めています。安心で安全な施設、食物アレルギーへの対応など、みなさんからの意見を参考にした新給食センターの建設は、来年9月の完成を予定しています。(画像は完成予想図です。)

新給食センター建設の基本理念

新給食センター建設にあたり、各学校の児童・生徒や教員、現場で働く栄養士・調理員、さらに地元自治会やみなさんからの意見や要望を受け、次の基本理念をもとに建設計画を作成しました。

- 安心で安全な学校給食センターであること
- 食物アレルギーへの対策をとること
- 地産地消の一層の拡大をはかること
- 地域の食文化を再現する「食の伝承館」の併設
- 災害時の緊急食糧基地機能の充実

新給食センターの主な特徴は次のとおりです

- 炊飯が可能に
- 現在の給食センターは炊飯ができないため、米飯給食の場合、埼玉県給食会が毛呂山町の施設で炊飯したものを各学校に配っていました。
- 新給食センターでは、1日6,000食の炊飯が可能となりますので、より身近なお米の利用として週3回の米飯給食を実施します。

衛生管理について

大腸菌などといった細菌類の繁殖を防ぐため、ほとんど床をぬらすことなく調理から洗浄・消毒・保管までの作業を行う完全ドライ方式を導入しました。その他、調理場の入り口に、体に付いたほこり等を取り除くためのエアシャワーを設置するなど衛生管理を徹底した施設(文部科学省が定める「学校給食衛生

管理の基準」にも適合)となっています。

さまざまな調理が可能に高度の衛生管理が求められる和え物室を設置することにより、これまでの施設ではできなかった、地場産食材の和え物や果物のカットが可能になります。また、こうした給食の多様化にあわせて食器も現在の2点セットから4点セットに新しくなります。



1階平面図

食物アレルギー対策について

調理場にアレルギー対応給食専用の調理室を設置します。この調理室は独立した部屋となっており、調理の過程で他の食材が混ざることなく対応給食を調理することができま

す。そのほかの具体的な対応給食の方法等はアレルギー対応委員会を設置して検討を進めています。

食の伝承館を併設

地域に伝わる料理などの食文化を記録し、資料を提供する「食の伝承館」を併設します。

新給食センターの概要

建設場所 小島南1丁目8番(福祉会館跡地)
敷地面積 8,166㎡(本庄市からの借地)
床面積 4,111㎡(1階 3,220㎡ 2階 869㎡
屋上階段室 22㎡)
総工事費 18億7千万円
工期 平成19年11月～平成20年9月
計画食数 9,000食(日本庄市および上里町の小中学校に配食)

災害時の対応

災害時には緊急食糧基地として機能するために、ライフライン(水・ガス・電気等)が停止した場合でも炊き出しが可能な施設として設計されています。

今後の予定

新給食センター建設に向けての今後の予定は次のとおりです。

建設工事の入札を実施(10月12日)

組合議会において請負契約の議決後、落札者と契約

建設工事を着工(11月)

新給食センター完成(平成20年9月予定)

完成後、新給食センターの見学会や試食会、地元の協力による炊き出しの練習なども計画しています。

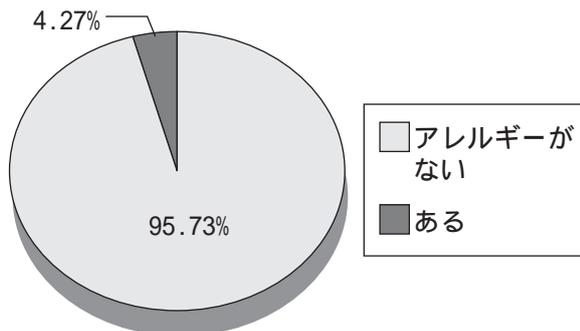
給食費について

「給食センターが新しくなると給食費が値上げになるのですか?」という質問を受けますが、学校給食法で「給食費とは食材を購入するために負担してもらうもの」と決められています。施設の新設や設備の修繕、人件費などには使われていません。

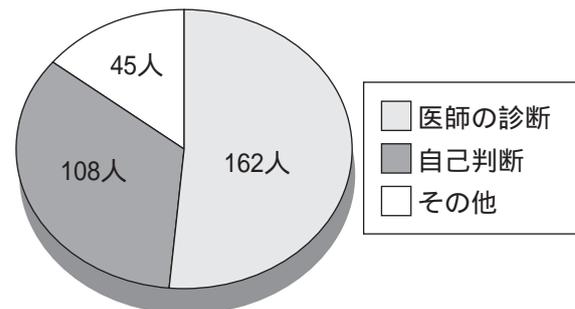
食物アレルギーに関するアンケートを行いました

食物アレルギー対応給食を実施するために、児童・生徒の保護者(中学3年生は除く)を対象に次のようなアンケートを実施しました。アンケートの主な内容と結果は次のとおりです。なお、今年度の新入学児童についても今年度中にアンケートを実施する予定です。

児童・生徒にアレルギーがあるかどうか



アレルギーの有無をどのように判断したか(医師の診断、自己判断など)



アレルギーがある児童・生徒は全体の4.27%で315人(内訳は、小学生261人、中学生54人)その半数以上が医師の診断を受けていることがわかりました。

アレルギーの原因となる食品は何か、また現在、食べないことにしている食品があるかどうか

アレルギーを起こす主な食品は、卵(87人)、乳(45人)、そば(31人)、キウイフルーツ(31人)が上位を占めています。また、食べないことにしている食品も卵、乳、そばなど、原因となる食品と同様の傾向にあるようです。

お問い合わせ先 本庄上里学校給食組合給食センター建設室 3020
ホームページ(<http://www.kyuushoku.jp/>)もご覧ください。